



Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて！～ 薬学教育学会

先日、大阪医科薬科大学で開催された日本薬学教育学会に参加し、多くの学びを得ました。国家試験でも出題され始めたバイオシミラーは学会でも大きな注目を集めており、あらためてトレンドになっていることを実感しました。また、AI活用に関する発表も多く、時代の変化が垣間見えました。

メディセレからも今回は2題のポスター発表を行いました。1つ目は、メディセレ統一模擬試験の「合格可能性判定」が実際の合否結果と合致しているというエビデンスおよび解析データです。2つ目は模試の傾向分析で、①10月模試の合格予測点が年々上昇していること、②10月模試は大学ごとの特徴が強く出るのに対し、12月模試は個人の実力が強く反映されること、③現役生と浪人生で模試の点数の伸び方に違いがあること——を示しました。

これらの分析からお伝えしたかったことを簡単にまとめると、①勉強は早くスタートすることが重要、②大学内でも学生間の学力差が広がっている、③できるだけ一度で合格することが望ましい——の3点です。特に②に関しては、かつては同級生間でさほど開かなかった成績の幅が、現在は広がっています。特待生制度などで優秀な学生が集まる一方、ボーダーラインの低下により幅広い層が入学しているためです。この「学内格差の拡大」は、今後の薬学教育における新たな課題だと実感しました。